

佐土原 R C  
**週報**



国際ロータリー第2730地区  
**佐土原ロータリークラブ**  
例会日 毎週金曜日 12:30-13:30  
例会場 ホテル神宮寺 0985-73-0015

**自分を越えた眼を**  
*Look Beyond Yourself*

*Ray*  
ラジェンドラ・K. サブー  
1991-1992年度 R I 会長

- 1991 7 26 (金) 第184回例会**
1. 点 鐘
  2. ロータリーソング「手に手つないで」
  3. 「四つのテスト」唱和
  4. 会長の時間
  5. 幹事報告
  6. 各委員会報告
  7. 例会無欠席会員表彰
  8. 点 鐘
- 例会終了後、前年度役員・理事の慰労の会員懇親会を開催します。

**第183回例会記録**  
(平成3. 7. 19)

会長の時間 濱田 松太郎  
1. 本日新入会されました「池田 英治」君を紹介いたします。

イ ケ タ エ イ ジ  
池 田 英 治  
昭和29年5月31日生  
職業分類 葬祭業 代表取締役  
住 所 佐土原町大字上田島1986  
TEL 74-188-5185 1385  
昭和55年3月23日結婚 利枝(夫人)  
趣 味 野球・ゴルフ  
座右訓 真心

入会おめでとうございます。立派なロータリアンとして例会100%出席をお願いいたします。

※会長より池田会員へ会員バッジ、定款・細則、ロータリーの綱領を贈呈し、ご入会を心から祝福いたしました。

2. 今林バストガバナーから書簡をいただきますので読み上げます。

「謹啓 初夏の候ますます清栄のこととお慶び申し上げます。コスタ会長のテーマ“ロータリーを高めよ”のもと、思いを尽くし、熱意を尽くして、地区の運営に当り、大過なく1990-1991年度を終り、井上ガバナーにバトンタッチいたしました。この間、皆様には格別のご友情、ご支援を賜り、おかげさまで無事終任できましたことに対し深く感謝申し上げます。今後は心を新たに精進のうえ、微力ながらロータリー発展のため努めて参りたいと存じておりますので、何卒よろしくご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。末筆ながら皆様方のご健勝をご祈念申し上げ、お礼と退任のご挨拶といたします。

敬 具  
1991年7月1日  
国際ロータリー第2730地区  
バストガバナー 今林 重 夫  
直前地区幹事 坪 口 元 伊  
地区資金委員長 下川路 秀 彦  
地区幹事 村 上 享 一  
〃 〃 大 津 久 徳  
〃 〃 大 竹 求  
事務局員 増 永 美智代

## 会員卓話 7/12 児玉武文

ロータリー例会に出席することによって、会員それぞれの職業を通じて自分の経験していないことを知ることができ、何かを得て帰ることができます。ロータリークラブは、会員相互で切磋琢磨することが大切であるといわれている意味が分ってきたように思います。

斉藤会員の、池に日覆をすれば青のりが生えないとの話、藤堂会員の煉瓦を張るときはメジにテープを張り付けて、後で取除くとよいという話、佐野前会長の花にふれて人の心の豊かさを教えていただいた話など、すべて私の視野を広め、知識を深める卓話ばかりでした。

さて、毎回のことながら、自分は卓話でどのような話をしたらよいのかと考えさせられます。一國一城の主でない私たちサラリーマンは、経営者の方とは視点も違い、内容的に自信もありません。今後いろいろと勉強をしていかなければならないと改めて考える次第です。

最近のゴルフ界の話になりますが、岡本綾子が悲願10年を掛けてのアメリカ四大メジャーに挑戦しています。6月30日に優勝決定戦があり、メグ・マーロンと18番ホールまで対進み、最後に岡本が5mのバットを外し、マーロンが2.5mのバットを入れ、結局1打差で優勝がつかしました。岡本にとっては極めて理想的な優勝のチャンスであったのですが、日本のマスコミのプレッシャーもあり、残念ながら優勝を果たすことはできませんでした。

岡本綾子が優勝を逃したのは大変惜しいのですが、挑戦的に終始闘うことができたのは満足であると本人は言っております。岡本はその後18番ホールに行って、5mの距離から何回もパッシングをしたそうですが、その時は全部球がホールに入ったそうです。それで、岡本は自分のパッシングは間違っていなかった、ということを確認して会場を去ったということです。

私達でも全く同様で、最後のパッシングというのは、次の回のプレイと関連があるような気がします。7時までテレビを視ていたところ、岡本は前半で1オーバー、後半でボギーを3出しました。成績が今一つということであったようです。

全米女子オープンゴルフ大会は最も権威のあるもので、150名の選手が参加し、20名の一流のプロ選手も加わります。皆様も今後は非全米女子オープンに関心を持っていただきたいと思っています。時間が切れましたので、このあたりで終らせていただきます。

## 会員卓話 岩切正司

時期的に「お盆」の話をしします。実は1年前にも「お盆」の話をしましたが、話というものは一度聞いたら覚えていくかといえ、そうでもないらしいです。ですから、もう一度お話ししてみたいと思います。

お盆は7月又は8月にあります。7月の盆というのは、早期水稲の収穫が8月のため農村に多く、非農家の方は8月盆をされているようです。佐土原町では従って2回盆をしています。

お盆の始まりとなったのは孟蘭盆経です。

これは中国でできたお経であるといわれていますが、これは少しおかしいのではないかと、偽経という言葉を使う人もいます。

印度で書かれたものでないとお経でない、釈尊が書かれたものでないと經典にならないといわれます。けれども日本では、この孟蘭盆経というのが一番定着しています。日本人の考え方や孟蘭盆経の内容がよく合致しているからでしょう。もう一つ偽経といわれるお経の中に、父母恩重経があります。この二つが中国でできたお経と呼ばれています。

では孟蘭盆経には何が書いてあるかということをお話しいたします。その中で木蓮尊者という、釈尊の十人弟子の一人が主人公になっております。ある日自分の母親が居なくなりました。一体どこに居るのだろう。そこで木蓮尊者は、

神通力を発揮して母親を探し出してみると、餓鬼道の世界に居ることが分かりました。

餓鬼道の世界という処はどういう処かといいますと、足ることを知らない、いくらあっても満足しない世界です。

現代の病氣は全て口から入って来る場合が多いようです。口の管理がどうもできていない。

従って今の日本人は餓鬼道に陥っていて、足ることを知らないといわれております。餓鬼道とは遠い遠い存在ではなくて、今私達の目の前に現存しているのです。

話をもとに戻しますが、母親が餓鬼道に墜ちている姿を見て深く悲しんだ木蓮さんは、ご飯を幾度となく母親に差上げました。しかし、母親がそれを食べようとすると、ご飯は火となって燃えてしまいました。何回くり返しても母親の口には1粒のご飯も入りませんでした。

それを悲しんで木蓮尊者は、お釈迦様の許に相談に行きました。私の体をダビに付して母親を救う方法はないものかと教えを請いました。

釈尊が教えられたのは、毎のもの、山のものを100供養しなさい、ということでした。

その日が7月15日でした。木蓮さんは仲間の僧侶達に供養してもらおう頼み、毎のもの、山のものを100お供えしました。(毎のものはワカメ・ヒジキ・海草類。山のものには白菜・胡瓜・ピーマンなど)7月15日にお坊さんに供養してもらいましたところ、母親は餓鬼道から救われました。木蓮さんは喜びのあまり跳びはねました。その姿が盆踊りになったのであります。こういうことが盂蘭盆経の中に書いてあります。お経というものは、読み方を間違えると意味が全然違ってきます。そこで、木蓮尊者の母親が何故餓鬼道に墜ちたか考えてみましょう。母親というのは、自分の子と人の子を区別する。自分の子は可愛い、できがいいと。

つまり世の中の父母は全て餓鬼道に墜ちているということ。逆に言えば、親は子を育てるためには餓鬼道に墜ちなければならない、ということになります。

盂蘭盆経を現代風に解しますと「母の日」を教えている。親の苦勞を知らせているところに大きな意味があると考えます。

現在の8月15日の盆は1月遅れの盆になります。全国の盆の期日を調べてみますと、関東の方は全部7月盆のようです。大阪から九州に亘っては7月盆が主流になっています。

経典に書いてあるのは7月15日ですが、なぜ7月15日になっているかといいますと、お坊さんの90日間の研修が終る日が7月15日だからです。

先祖の御霊を迎える「迎え火」、御霊を送る「送り火」は日本特有の行事です。日本人の先祖を祭る感覚に基くものでしょう。

お盆には提灯を供えるのが風習です。佐土原町・新富町・西都市地方では「ツル」を今でも作って、初盆の家には並べてあります。それには南無阿弥陀佛の文字が見られます。

異国を旅して、いつもうらやましく思うのは並木である。多くの町々がすばらしい並木を育てており、街のいたるところを緑のトンネルに仕立てているのだ。中国ではそうした並木が道に沿って延々何キロも続き、インドでも二抱えもあろうかと思われるボダイ樹の並木がどこまでも伸びている。人々が並木をいかに大事にしているかは、何万本にも及ぶ木々の1本1本をきちんと管理していることからもうかがえる。

たいていの国が害虫から護るべく根元から1メートルほどのところまで幹を白く塗ったり、番号をつけたりしているのである。

並木は1日にして成らず。若木から忍耐強く育てあげねばならない。彼等はその若木を鉄の柵で大切に囲い、わが子のように見守っていた。

森本哲郎氏

○ 緑蔭や風に季節の香あり

棟安友信氏

3.先般第2回の理事会において下記のように決まりましたので報告いたします。

- ①1990～91年度佐土原RC決算書並びに1991～92年度予算案について内容を説明し承認を受けた。
  - ②例会無欠席者の表彰について、3年間無欠席は山脇忍君、田村勝二君、濱田松太郎君、1年間無欠席は佐野 保君です。来る7月26日の例会で表彰式を実施する。
  - ③ビジター賞は、西都RCの尾崎公男君、阿万英也君、宇治野 稔君の3名です。
  - ④職業活動表彰について、本年度中において適当と思われる方を物色し、10月職業奉仕月間に表彰をすること。
  - ⑤7月26日の夜間例会は例年通り実施する。
- 4.社会奉仕委員会が8月24日(土)14時から17時まで宮崎観光ホテルで開かれます。社会奉仕委員長神宮寺利夫君の出席方をお願い申し上げます。
- 5.本日の例会終了後に第3回理事会を開きますので、よろしく願っています。
- 6.ここ1週間の新聞を読んでいますと、去る7月12日、南米ペルーにおいて国際協力事業団派遣による農業生産技術指導員の日本人3名の方が、反政府左翼ゲリラのため射殺されたというまことにもってショッキングな事件がありました。「恩を仇で返す」とでもいいでしょうか、何ともやりきれない痛恨の極みであります。もしも彼等(犯人)の中に一人でも国際平和に通じるロータリアンが居たならば、こんなむごい仕打ちはなかったものと思うのは私一人の考えでしょうか。
- 次に15日の新聞では、県内に獣医不足という見出しで出ていましたが、最近の獣医科学学生の志向として、大動物に係る仕事は全て3Kとして敬遠され、大方の学生が小動物臨床に移行しているという現状です。県におきましても来年より食鳥検査法により14名の獣医を募集していますが、思うようにいないので、各学校を訪問中とのことです。このよう

に、過去の僕達の状況と現状とは大いにその趣を異にしていると思う今日の頃です。

夏の大相撲名古屋場所において、平幕13枚目の琴富士関が12日間全勝を続け、本日も(19日)優勝が決まるという、いよいよ面白くなってきました。また、夏の甲子園をめざす全国高校野球選手権大会もいよいよ開幕、本県を代表して出場するのは果たしてどの高校でしょうか。青春のドラマはどのように展開していくのでしょうか。郷土の名誉にかけても頑張ってもらいたいと思うとともに、ロータリアンとしての、将来の日本を背負って立つ青少年の健全な育成という見地からしても、純真なプレーに応援を送りたいと思います。

ロータリアンは「怒の心」を持つこと、つまり相手の身になって思いやる心を持つことが根本であるといわれています。

例会や各会合は、その心を涵養する処、そして人間形成の場でありますので、お互い切磋琢磨して自己研鑽に努力したいものだと考えております。以上で会長の時間を終ります。

#### 幹事報告 鈴木正敏

- 1.高編RCより、7月25日は夜間例会のため19時からホテル泉屋で開きます。
- 2.佐世保中央RCの認証状伝達式が7月22日(日)行われるとの案内が来ております。

#### 出席報告 委員長 神宮寺 利夫

会 員 数	17名
HC出席者数	15名
欠 席 者 数	2名
出 席 率	88.24%
欠 席 者	井下・猿渡

#### ビ ジ タ ー 西都RC 福本 博君